

製品名: PI3 キナーゼ p85 アルファ (4H15) ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe16111

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|-----------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000 |
| 分子量 | 84kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | PIK3R1 |
| 別名 | GRB1; p85 alpha; PI3-kinase subunit p85-alpha; PI3K; PI3K regulatory subunit alpha; Pik3r1; PtdIns 3 kinase p85 alpha; |
| 遺伝子 ID | 5295.0 |
| SwissProt ID | P27986 |
| 免疫原 | ヒト PI3 キナーゼ p85 アルファの合成ペプチド |

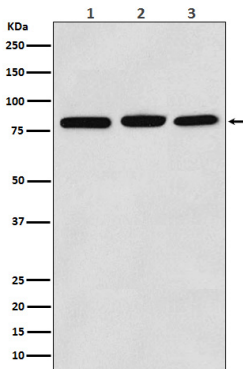
背景

SH2 ドメインを介して活性化 (リン酸化) タンパク質チロシンキナーゼに結合し、アダプターとして機能して、p110 触媒ユニットの細胞膜への結合を媒介します。インスリン感受性組織におけるインスリン刺激によるグルコース取り込みおよびグリコーゲン合成の増加に必要です。SH2 ドメインを介して活性化 (リン酸化) タンパク質チロシンキナーゼに結合し、アダプターとして機能して、p110 触媒ユニットの細胞膜への結合を媒介します。インスリン感受性組織におけるインスリン刺激によるグルコース取り込みおよびグリコーゲン合成の増加に必要です。FGFR1、FGFR2、FGFR3、FGFR4、KITLG/SCF、KIT、PDGFRA、および PDGFRB に対する応答シグナル伝達において重要な役割を果たします。同様に、ITGB2 シグナル伝達にも関与する (PubMed:17626883、PubMed:19805105、PubMed:7518429)。肝臓における代謝過負荷時に、ER ストレス依存的および / またはインスリン依存的に XBP1 アイソフォーム 2 の核移行を促進することで、ER ストレスに対する細胞応答を調節し、耐糖能の改善に関与する (PubMed:20348923)。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



(1) K562 細胞溶解物、(2) Raw 264.7 細胞溶解物、(3) C6 細胞溶解物における PI3 キナーゼ p85α 発現のウェスタンブロット分析。